

平成28年度 Heartful Town・笛吹 まちづくり座談会 市長との意見交換会議事報告

まちづくり座談会においていただきました、ご意見・ご質問を掲載させていただきます。

ご意見： 笛吹川のサイクリングロードの活用・スポーツ環境の整備について

- ・笛吹高校や石和中学校、藤原選手(ミキハウス)も利用するほどよい練習環境である。
- ・サイクリングロードがとても痛んでいる。改修工事と幅を広げてほしい。距離数の表示を希望する。そして、近くに芝のグラウンドを作ってほしい。400メートルのトラックを作り、サイクリングロードとあわせて上手に活用してほしい。

(市長)

- ・アスファルトの拡張・距離の表示については、県との協議が必要なので、一つ一つ協議を重ねていきたい。
- ・スポーツ施設は、予算のこともあるのでいろいろな意見を聞いて検討したい。

ご質問： ごみ袋の有料化について

- ・甲府市と比べると高いと感じる。甲府市もはじめは高かったようだが、安くなったと聞く。今後、値段の改定を行う予定はあるか。

(市長)

- ・笛吹市は可燃ごみのみ有料化している。甲府市、山梨市、甲州市は、他も有料化している。ただし、どちらが良いのかは、しっかり研究していきたい。

(市民環境部長)

- ・笛吹市は可燃ごみのみ有料化。全体的な負担を考えれば笛吹市は安い。ごみ袋の有料化の狙いはごみの減量が第一目標。金額については、30円くらいが一番ごみ減量につながるという研究データがある。

ご意見①： NTT用地の活用について

- ・前市政からの問題になっている。駅付近には駐車場がない。新しいものをたてるのもありだが、既存の施設をNTT用地に移動するのも一つの案。例えば駅前の農協をNTT用地に移動し、その空いた土地を駐車場にするなど検討していただきたい。

ご意見②： 田舎リゾートについて。

- ・境川には、藤壘の滝やミズバショウなどがある。そのあたりにも目を向けてもらいたい。

(市長)

- ① ・そのような意見は出ているが、相手側がいること。そして、農協は組合員もいる組織なので、よく研究していきたい。旅館のバスが駅前ロータリーの中で客待ちのため停車し混雑が見られる。お土産屋と駐輪場の間に土地があるが、その活用について農協、商工会、旅館組合、私(市長)の4者で協議した経緯もある。
- ② ・先日、東京にあるスタンレー電気に表敬訪問させていただいた。創業者が旧境川村出身で市に多大な寄附をいただいている。藤壘の滝の大窪いやしの杜公園では、夏から秋にかけて音楽を奏で彫刻を鑑賞するライトアップイベントも計画している。

ご意見：空き家の活用について

・笛吹市にも空き家が目立っている。リノベーションしながら地域貢献できないか。農業者の支援事業やI・Uターンへの支援として住む場所を提供するにあたり、空き家をリノベーションして活用し、産業の活性化につなげてほしい。自分もその力になりたいと考えている。

(市長)

・空き家の活用についてはまだ始めたばかりの事業。しっかり活用しながら進めていきたい。

ご意見①：成人式について

・市広報2月号において成人式の記事が目についた。合併して12年。初めて一堂に会した開催は画期的だなと思った。自分なりに狙いを考えてみた。若い世代に対し、笛吹市は一つなんだなという狙いがあったのではないか。ただ一方、成人式は小中学校の同窓会という意識がある人もいる。合同で開催することで、そのような気持ちはどうだったのかという意見もあった。広報紙で、何人かの成人者に、初めての合同成人式についての感想を聞いてほしかった。

ご意見②：市長の取り組みについて

・市長には市役所から外へ出てほしい。笛吹市には地域の特色がたくさんある。選挙のときに隈なく歩いたのと今では立場が違う。ぜひ地域の中に入っていくというスタンスで頑張ってもらいたい。

(市長)

① ・いろいろな意見があったと思うが、初めて市内の一箇所で開催できたことは私としてはよかったと思う。今後、子どもたちや地域の人たちに意見や感想を聞き形にしていきたい。

② ・昨年中に全ての公立の保育所をり保育の現場を確認した。今度は小学校も回り教育現場を把握していく。地域の声を多く聴こうと、区長会、地域審議会にも出向いていきたい。できるだけ外に出て皆さんの意見を聞く機会を作っていきたい。

ご意見：トイレの整備

・石和農村スポーツ広場、清流公園の外のトイレが全て和式である。幅広い方々が利用する施設なので洋式トイレの整備をお願いしたい。

(市長)

・現場をみて検討します。

ご意見①：農業用機械補助事業について

・最盛期に農業用機械が故障すると生活に支障がでる。部品の供給もすぐには出来ない為、薬剤散布用農機具(スピードスプレーヤ)の代車を整備していただきたい。農機具10万円補助の件も引き続きお願いしたい。

ご質問②：ふるさと納税について

・笛吹市は県内で何位か。ホームページを調べたが出てこなかった。

ご意見③：大雪のときの対応について

・通常の雪のときの対応と同じ対応だった。何も起きなかったから良かったものの稚拙な対応であった。市が最優先すべきは生命・財産を守ること。大雪の際は緊急車両が通る道路の雪かき・消火栓と消火栓ボックスの位置の確認など、優先順位をつけた対応をお願いしたい。また、市職員が対応が出来ない場合は、地元の市民や区長も頼って欲しい。衛星携帯電話を利用するのも良いのではないか。

(市長)

・多岐にわたるので細かいところは持ち帰って協議したい。

(産業観光部長)

① ・JAの営農支援センターで農機具の貸し出しをしている。SSについても対応できるようJAと相談したい。
農機具10万円の補助はできる限り検討していききたい。

(経営政策部長)

② ・27年度は県内で4番目です。28年度は2月22日現在1億1千万円ちょっとです。物を増やすことをしていききたい。
去年は75品目。今年は116品目。体験型などもある。市外のものをカタログの中に入れるのはふるさと納税の趣旨と違う。笛吹市は、地域の皆さんが作ったものや石和温泉の昼食付入浴権など特徴あるものを入れている。

(総務部長)

③ ・災害時のリスク管理について、マニュアルの中での対応ではできなかった部分があった。後手後手に回ってしまった。放送もうまく使えなかった。今年度から防災危機管理課という専門部署を作ったので、災害時の対応をしていききたい。

ご意見①：水害について

・新しい防災マップの作成と水害時のシミュレーションをしっかりと行ってほしい。

ご意見②：石和温泉駅北口の駐車場について

・利用者が少ない。1日利用した場合の利用料の上限を設定するのも必要ではないか。

ご意見③：市のHPについて

・もっといいものを作ってほしい。市長の意見を月1回でいいので掲載してほしい。

(市長)

① ・防災についてはしっかり対応していききたい。
② ・ご意見②については、後日担当課にて回答いたしました。
③ ・自ら発信することは時間的になかなか難しい。検討していききたい。

ご意見①：企業立地推進事業の予算について

・企業立地推進の予算が昨年に比べ増えている。自主財源を確保するには企業立地は欠かせない。長期的な視点が必要で、2、3年かかって初めて成果が出るもの。積極的に受け皿を作って企業誘致を行っていただきたい。
笛吹市は自主財源が乏しいので、企業誘致による自主財源確保が住民サービスにもつながると思う。

ご意見②：健康づくりについて

・国保の会計がとても厳しい。税負担も大きい。現在も予防事業によく取り組んでいただいているが、健康でいるためにも、より積極的に取り組んでほしい。

(市長)

① ・企業誘致については積極的に行っていく。お金をかけるところはかけ、削減できるところはしっかり削減していききたい。

② ・健康のためには予防が大切。しっかり取り組んでいききたい。

(保健福祉部長)

② ・国民健康保険加入者の予防への取り組みとして医療費を下げていくこともだが、介護保険の給付も広がっており、保険料が上がっていくことも予想される。現在、健康増進計画の見直しを行っているが、その中には予防への取り組みについても掲載している。皆さん一人ひとりが積極的に健康づくりに取り組むための指針を定め、しっかり取り組んでいききたい。

ご意見①：世界農業遺産登録事業の200万円で何が出来るか

・稼ぐ力になりにくいのでは。空き家の活用や企業誘致をしたり、民間の力を取り入れてもらいたい。

ご意見②：消防団について

・消防団の部を統合した時に定員数の削減を条件に統合(13部)したが実現されていない。定員を減らして効率化を図れば、予算の削減にもつながるのではないか。

(市長)

① ・200万円は調査段階での金額であり、認定されれば予算増が見込まれる。今年度農業予算は13億ありますのでいろいろな事を行っていきます。企業立地については、企業からの問い合わせもあり力を入れていきたい。

(総務部長)

② ・定数については、合併時から比べると、団員の確保も困難なことからも1800名数十名から1700数十名となっている。部の定数についても、人員確保が困難な部は随時見直していく必要がある。

ご質問：観光再生について

・英語力を活かしておもてなしをしたい。市として観光客に対してどのような対応していく予定か。

(市長)

・まだまだ、笛吹市は外国人の受け入れができていない。〇〇も見てみたい。〇〇を食べてみたいというような目的地となるような観光地にならなければいけない。
・言葉は大切。旅館でも外国語を話せる人は少ないので、外国語が話せるようになるような講習や取組を行っていかないといけない。
・どこまでがおもてなしなのか限りがない。タクシー運転手の対応など市全体として小さいことから取り組んでいく必要がある。

ご意見①：農業について

・農業従事者の年齢が高くなり、年配者が増えてきている。新規就農者支援も大事だが、長年農業に貢献してきた方が体を動かすことは大切。相談窓口も作ってほしい。

ご意見②：下水道事業について

・下水道を引くのにお金がかかる所には、合併浄化槽を推進している市(甲州市)もある。自然環境を守る点でも導入してほしい。下水道事業にかかる負債を少なくするようなことを考えてほしい。そのお金を減らすために都市計画税をとることもおかしいのではないかと思う。下水道事業の見直しでコストと効率化を図り、どちらの方がお金がかからないのかを市民に説明してほしい。

(経営政策部長)

① ・その人その人の状態によって様々な担当がある。話をお聞きかせいただければ対応させていただく。

(市長)

② ・下水道に関しては、山間地域には合併浄化槽を推進するようしていきたい。下水道を引いたら入ってもらわないと意味がない。しっかり担保がとれたところから優先していく。議会でも話が出たが、上下水道の料金は、極端に言えば、供給すればするほど赤字になるのが現状。無駄な部分はきっちり整理していく必要がある。

ご質問①：八代スマートインターチェンジにつながるアクセス道路について

・石和町向田から日之出(313号線)の間の道路が非常に狭い。大型車の通行も困難である。整備する計画があるか。

ご質問②：石和温泉駅北口について

・石和温泉駅北口に何か賑わいをもたせるための対応は。バス停はあるがバス路線がない。バス会社を誘致する予定はあるか。

ご意見③：人口増加策について

・人口減少が続けば、他市との合併もありえる。ショッピングセンターの裏の土地を宅地開発するなどの人口減少対策を行ったらどうか。便利な所には宅地を。例えば一宮のイツモアの裏にある畑を宅地にするなど。

(市長)

- ① ・石和町向田から日之出の間を拡張するには住宅地もあり地権者の同意が難しい。大型車は八代から20号線に抜ける新設道路を利用していただいたり、今後整備を予定しているスマートICから砂原橋へ抜ける道を整備することにより対応したい。
- ② ・まずは、石和温泉駅を新しくして北口にもロータリーを設けるということから始めた。今後一つ一つ賑わいの創出につながることを進めていきたい。民間に活用していただくことも考えていきたい。
- ③ ・人口減少はどの自治体でも最大のテーマである。新しく移住してもらう若い人たちのため、いくつものことを同時進行して対策をとっていく。

ご意見：子育て支援について

・少子化が全国的に一番問題となっている。市には産婦人科もない。今の施設の中に(競売にかかっている建物)リゾート的考え方の産婦人科を作ったらどうか。東京ともアクセスが良いので需要があるのではないか。

(市長)

- ・市内には長坂クリニック(産科)がある。
- ・今ある病院に政策的にお金を出して専門医を雇ってもらい、産婦人科を作ってもらうことも手段の一つであると考えている。よく考え研究していきたい。

ご意見：デマンドタクシーの料金について

・温泉施設へ行くのに、デマンドタクシーを往復で使用すると(片道:200円、往復400円)、温泉施設料より高くなってしまう。

(経営政策部長)

・一部負担への理解をお願いしたい。

(保健福祉部長)

- ・今年度から75歳以上の一人暮らしの方、高齢者世帯で75歳以上の非課税の方に対し、タクシー券を年間24枚配布している。
- ・市民活動支援課では、免許返納者に対し、1年に1万5000円分のタクシー券を交付している。

ご質問：空き家を活用し人口を増やす

・市内にはたくさんの空き家がある。古い建物もあるので耐震化もされていない。火災の危険もある。そこを耐震化し、改修し、住んでもらうように整備をする。貸したい人・借りたい人・改修したい人の3つの要素を取り入れることが良いかと思うが、市としての考えを聞かせてほしい。

(建設部長)

- ・空き家の関係については、市のほうで現在調査中である。その中でも、ランク付けをして、比較的直せば使えるものに関しては、活用していく。

(経営政策部長)

- ・移住定住の関係では、現在、空き家を探している状況。空き家バンクへの登録をお願いしたい。登録が増えることで、物件を見にくる人が増える。

(経営企画課長)

- ・空き家バンクについて、成約がされた場合、県の補助金も活用し、奨励費を出すことも検討している。

ご意見：子どもの教育について

- ・感謝できる子、人の痛みが分かる子、恩を返せる子が教育の基本ということ聞いた。いじめをしない。いじめに強い子を育てる教育をしてほしい。ハード面だけでなく、ソフト面をしっかりと対応してもらいたい。
- ・少子化について、保護者は“市がどんな教育をしているのか”にとても興味がある。教育方針などについて発信し、人を呼び込んでほしい。

(市長)

- ・いじめのない世の中を作れたら最高である。そのためにも努力していく。来週から教育長と小学校を訪問する計画がある。まずは現場を見させていただき、問題を目でみてしっかり対応していきたい。

(教育長)

- ・市では相談室を設けている。5人常駐している。今年は保健師も入れたので、充実してきている。利用していただきたい。
- ・学校教育課には指導主事を2人配置して、いじめ等の問題についての対応をしている。学校では人権擁護委員を招いて話しをしてもらい対応をしている。幼保小中高で連携会議を行い、連絡を取り合い、意見交換等を行ってほしい。

ご意見：定住人口増加につなげるために

- ・大学や専門学校が市に誘致できれば、働き手も育成でき、そのまま定住していただけるチャンスにつながる。また誘致した学校の学生に対し学費の補助なども検討していただきたい。

(市長)

- ・市の近隣には頑張っている私学の大学があるが、そういうことも考えてみたい。

ご意見①：座談会の開催時間について

- ・若いお母さん方は、この時間に参加が難しい。お昼の時間で、託児所を設けてほしい。

ご意見②：スポーツ施設整備について

- ・芝のグラウンドの整備を。子どもたちが安全にスポーツができる環境を。
- ・例えば市にはプールがない。みんな県外に行ってしまう。地域の人が外でお金を落としてしまう。地元でお金を落としてもらえるような整備を。

ご意見③：桃の里マラソン大会について

- ・桃の里マラソン大会を全市で開催してほしい。例えば桃の時期の一宮～御坂～八代ふるさ公園を走るとか。そして、最後に温泉に入って帰ってもらえるような環境を。

(市長)

- ① ・区単位や団体などもっと小さいレベルでも、昼夜問わず対話する機会を作っていきたい。
- ② ・グラウンドは、将来の子どもたちの技術向上のため、またオリンピックなどへ出られるような子どもを育てられる土壌作りも大切と考える。
 - ・プールの件も研究していきたい。市では難しい。元気な民間にやっていただくことも一つの可能性だと思う。
- ③ ・マラソン大会はスポーツ財団が運営している、今後ご意見を参考に研究していきたい。